

不撓不屈

普天間中学校だより
第3号
令和2年7月10日

教育目標

平凡を非凡に努め 不撓不屈
の精神で何事にモ挑戦し 自己
実現に向かつ生徒の育成

あいさつは心の架け橋

元気な「おはよう」にパワーもつづ

7月(文月)に入り、灼熱の太陽が照りつける夏本番を迎えました。そのような中、部活動生は、地区総体に向けて各部の練習も本格的に行われ、ますます学校が活気づいています。特に3年生にとっては最後の大会になりますので頑張っておほいと思ひます。

ところで、毎朝、正門に立って立哨をしていると、にっこりと笑顔であいさつをしてくれる生徒や、私より先に元気な声であいさつしてくれる生徒がいます。私が、生徒達からパワーをもらって心が温かくなる瞬間です。また、今月から各学級の生徒達が、朝のあいさつ運動を行っています。トップバッターは3年1組。日を追うごとに参加人数も多くなり、明るい声が響いています。

あいさつは、礼儀の基本であり、人間関係を築くコミュニケーションの第一歩でもあります。生徒達には、①明るく元気よく、②相手

の目を見て笑顔で、③自分から進んで、④心を込めて、「あいさつ」ができるようになってほしいと思います。



朝のあいさつ運動の様子(3年1組)

また、教職員自らも良い手本となり、率先垂範してまいります。生徒たちの心を育てながら、より素晴らしいあいさつが交わされる学校となるよう全校体制で取組を進めます。

さらに、習慣化を図るためにも、保護者の皆様のご協力をいただきながら、連携して子どもたちを育てていきたいと考えます。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

平和講演会

去る6月17日(2年)、19日(3年)、24日(1年)、コロナウィルス感染症拡大防止のため、学年ごとに分散して、平和特設授業が行われました。講師を務めてくれたのは、御年92歳の仲井間小夜子さん、旧南洋群島(サイパン)のロタ島で体験した太平洋戦争のことを手作りの紙芝居を使って語ってくれました。

乱射する米軍の機銃掃射の恐怖



や水くみに行った同級生が帰ってこなかった話。逃げ場がない島の海で死人が重なり、海面が真っ赤に染まる様子、壕の外で一一緒に歩いていた看護婦が爆撃で死亡し、仲井間さんも生死をさまよったことなど、辛い75年前の体験を、未

来の子どものためにと紹介してくれました。そして、「いかに平和が大事か」「命どう宝」を訴えました。

暑い体育館での講話でしたが、生徒たちは、仲井間さんの臨場感あふれる実話を真剣に聞き、二度と戦争を繰り返してはならないと心に強く再認識することができました。

#新型コロナに負けない!

学校再開から2ヶ月が経ちました。毎日の検温や消毒、マスクの着用等「コロナにかからない、うつさない」感染症対策を続けて頂きありがとうございます。一人一人の自覚と、思いやりのある行動に感謝です。今後も熱中症対策とともに、新型コロナ感染症防止の取組をよろしくお願ひします。

リモート DE 生徒総会

7月10日(金)、コロナウィルス感染症対策をとり、リモート会議システム[Teams]を使って、生徒総会を開催しました。

執行部が生徒会・各専門委員会の年間計画や決算報告、予算案等をパワーポイントでわかりやすくまとめ、発表してくれました。質疑応答の場面では、クラスとリアルタイムでやりとりする場面があり、リモート会議の本領を発揮しました。

また、決議の後、先日の学級討議で学習班が話し合った「授業が楽しくなるためのアイデア」の一部が紹介されました。「生徒同士学び合ったり、先生と生徒が交流したり、ゲーム形式にしたり...」様々なアイデアに先生方も参考になりました。

今年度は、「有希改進」をスローガンに、常に改善しながら前進する生徒会を目指しています。学級・学年・全校が一致団結して最高の普天間中にしていきましょう。